



「世界の北海道」を目指して  
—北海道総合開発計画—



ウポポイ  
NATIONAL IDU MUSEUM and PARK  
民族共生象徴空間

パネル展中止

令和4年9月30日

## 「わが村は美しく－北海道」運動 大賞決定！

### ～第10回コンクール北海道開発局長表彰は2団体～

北海道開発局は、「わが村は美しく－北海道」運動 第10回コンクール大賞審査委員会を令和4年6月17日及び7月22日に開催し、優秀賞を受賞した13団体の中から「北のなのはな会」及び「ほんべつ豆まかナイト実行委員会」の2団体を大賞に決定しました。

第10回コンクールでは全道60市町村から75団体の応募があり、昨年度、優秀賞13団体、奨励賞20団体を決定し表彰しました（開発局ホームページで公表済み）。

このたび、優秀賞13団体の中から、先導性、モデル性の高い活動を行う2団体に大賞（北海道開発局長表彰）、また、今後とも継続した活動が期待される3団体に大賞審査委員特別賞が贈られます。

- 大賞 北のなのはな会（安平町）  
ほんべつ豆まかナイト実行委員会（本別町）
- 大賞審査委員特別賞 えづらファーム（遠軽町）  
農猿（南幌町）  
ベジタブルワークス株式会社（真狩村）

※ コンクールの経緯と受賞団体の詳細は別紙のとおりです。

※ 表彰式は令和4年11月10日（木）に行う予定です。詳細については、後日、改めてお知らせします。

なお、表彰式に先立つプレイベントとして、受賞団体を紹介するパネル展を開催いたします。

~~【展示期間】令和4年10月3日（月）～10月7日（金）まで~~

~~【展示場所】大通ビッセ1階ロビー<札幌市中央区大通西3丁目7番地 北洋大通センター>~~

※ 都合により、パネル展は中止となりました。

「わが村は美しく－北海道」運動の情報は、以下のホームページに掲載しています。

[https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/ns/nou\\_sin/ud49g700000emhm.html](https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/ns/nou_sin/ud49g700000emhm.html)

【問合せ先】国土交通省 北海道開発局 電話（代表）011-709-2311

農業水産部 農業振興課 課長補佐 伊原 陽一（内線 5683）

農業水産部 農業振興課 農村地域振興第2係長 新津 由紀（内線 5685）

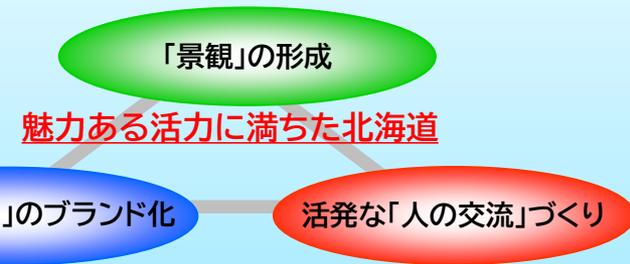


北海道開発局ホームページ <https://www.hkd.mlit.go.jp/>

# 「わが村は美しくー北海道」運動 第10回コンクールの経緯と受賞団体について

北海道開発局  
農業水産部 農業振興課

- 「わが村は美しくー北海道」運動（以下「わが村運動」）は、北海道の農山漁村が持つ、かけがえのない地域の資源（景観・地域特産物・人の交流）を守り、次の世代に引き継ぎ、そこに住む人々が誇りを持てる北海道の「わが村」の未来を創っていく、との思いから生まれました。
- 平成13年度から今日まで、コンクールの開催を中心に、道内各地における地域資源を活用した住民活動に光を当て全国に発信するなど、様々な方法により支援を続けています。



## 「わが村」運動としてのこれまでの取組と成果

- 北海道開発局HP、メールマガジン、Facebookから情報発信、JR車内誌への掲載
- 北洋銀行と連携したビジネスマッチング参加、パネル展（地域活性化に資する連携協定を活用）
- 首都圏におけるPR活動
- 高校における景観ワークショップ



## 地域活性化に向けた取組事例

- 根室市でフットパス等を展開する酪農家集団「AB-MOBIT」は、第2回コンクール「人の交流部門」（当時）で受賞。
- この受賞をきっかけとして、活動の地域への認識が広がり、団体としても更なる活動の広がりへ！「AB-MOBIT」は第4回コンクール「景観部門」（当時）でも受賞！
- 市内からはほかに歯舞地区マリンビジョン協議会が「地域特産部門」（当時）で受賞するなど、地域を代表する産業“農・水”の活力の更なる向上へとつながっています。



## 20年の歩みを踏まえ 運動の「新たな展開」へ！

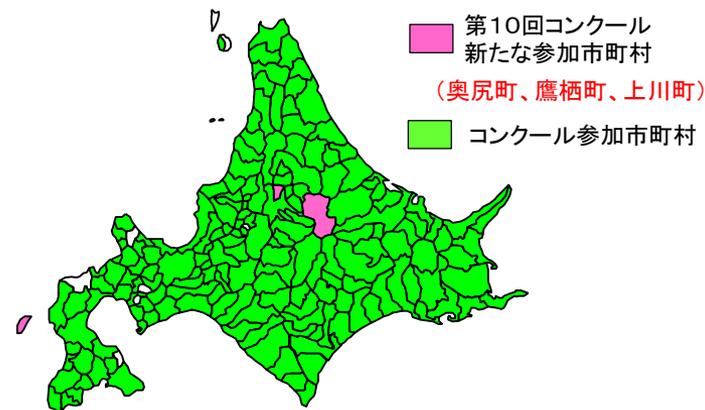
- 20年間の運動を振り返り、地域の活動の更なる発展を目指し、令和3年度から「わが村は美しくー北海道」運動の「新たな展開」に移行しました。
- 地域活動の担い手確保やコロナ禍等の中における活動の活力向上のため、これまでの取組に加え、他団体や関係機関との連携や情報発信などの更なる充実、全道各地の団体同士が意見交換・情報共有するためのネットワークづくり等を進めていきます。

# 「わが村は美しくー北海道」運動 第10回コンクールの経緯

- 第10回コンクールでは75団体が応募。新たに3町からの応募が加わり、全道179のうち172市町村が参加（96%）。
- これまでのコンクール参加団体数は、複数回応募を除き871団体、延べ応募数では1,247団体。
- 受賞団体数は、複数回受賞を除き延べ299団体。

これまでのコンクール参加団体数及び受賞団体数

	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回	第10回	計
	H13-14	H15-16	H17-18	H19-20	H21-22	H24-25	H26-27	H28-29	H30-R1	R3-4	
参加団体数 (重複分を除く)	114 (114)	160 (119)	170 (122)	169 (100)	200 (130)	113 (73)	99 (64)	86 (57)	61 (41)	75 (51)	1,247 (871)



これまでのコンクール参加市町村

## 【ブロック審査委員会の結果】

令和3年度には各ブロックの審査を経て、優秀賞13団体、奨励賞20団体、NPO特別賞6団体が決定。令和4年度は優秀賞13団体から大賞を決定する大賞審査委員会を実施し、大賞2団体、大賞審査委員特別賞3団体が決定。

### 令和3年度

公募（～R3年6月30日）

ブロック審査委員会  
(R3年7月～R3年12月)

- ・各開発建設部ごとに設置
- ・応募団体の現地調査
- ・優秀賞・奨励賞の審査・選考

優秀賞・奨励賞の決定  
(R4年2月1日)

- ・受賞団体の決定
- ◎優秀賞表彰者～北海道開発局長
- ◎奨励賞表彰者～各開発建設部長

☆優秀賞～優秀な活動を選考

☆奨励賞～将来性や継続性から奨励する活動を選考

### 令和4年度

大賞審査委員会  
(R4年6月～R4年9月)

- ・優秀賞受賞団体の中から大賞候補団体を審査、選考
- ・審査委員は、外部有識者で構成

大賞審査委員会  
第1回委員会 6月17日  
第2回委員会 7月22日

大賞決定  
(R4年9月)

- ・受賞団体の決定  
(令和4年9月30日)
- ・大賞表彰式  
(令和4年11月10日を予定)
- 表彰者～北海道開発局長

☆大賞～運動を引率する先導性、モデル性の高い団体を選考

## 大賞 (北海道開発局長表彰)

### 北のなのはな会 【安平町】



「菜の花」の再生可能エネルギー資源、観光資源としての可能性を見出し、地域で初めて菜の花の栽培・研究を開始したほか、特産品の製造・販売にまで発展させました。

観光協会等との連携により、「菜の花さんぽ」や「菜の花フォトコンテスト」を開催、観光客向けに毎年の菜の花ほ場を示した菜の花マップもホームページにて公開しています。

### ほんべつ豆まかナイト実行委員会 【本別町】



本別町の特産物である“豆”をテーマに豆の消費拡大や地域活性化を目的として「ほんべつ豆まかナイト」を開催しています。準備・運営段階から関係団体と連携し、町内のコミュニティづくりや人材育成なども目指した実行委員会として活動しています。

イベントで使用する豆の栽培をプロジェクトとし、食育・地域学習の要素も含めるなど、十勝農業継承にも貢献しています。

## 大賞審査委員特別賞 (大賞審査委員表彰)

### えづらファーム 【遠軽町】



「農村や農業の魅力、素晴らしさ」を多くの人に感じてもらいたいとの思いから、畑作経営を中心に様々な地域活性化に繋がる取組を展開しています。

農家民宿の経営、住み込みボランティアの受け入れ、農場アクティビティの提供などを行い、交流人口が増加することにより、地域社会の維持や活性化に大きく貢献しています。

### 農猿 【南幌町】



地域おこしや地産地消を目的として、町内の若手農業者が集まり活動を開始しています。

現在では、職業の垣根を越えて地域活性化を目指す団体に発展しており、南幌町の魅力を次世代に伝え継承していくために、子ども達に農業のかっこよさを伝えています。

農業体験型イベント「野祭」では、野菜の販売やトラクター展示などを行っています。

### ベジタブルワークス株式会社 【真狩村】



真狩村の風土を生かした特別栽培農産物を7種栽培しており、道内はもとより首都圏にも出荷し、農業を収益性のある魅力的な職業にすることを理念としています。

農作物の栽培から、農業機械の開発、自社トラックでの輸送、販売に至るまで、効率的に活動しており、持続可能な農業と働きやすい職場づくりを大切にしています。

# 参考)「わが村は美しくー北海道」運動 第10回コンクール参加団体

札幌ブロック	
参加団体名	応募者所在地
黒千石事業協同組合	北竜町
うらうす手打ちそば友の会	浦臼町
浦臼町農産加工研究会	浦臼町
農猿	南幌町
北広島市水稲赤毛種保存会	北広島市
ふかがわ地域資源活用会議	深川市
北海道当別高等学校 ボランティア局	当別町
南区農園ガイドの会	札幌市
そらち南さつまいもクラブ	由仁町・栗山町

小樽ブロック	
参加団体名	応募者所在地
リタロードを守る会	余市町
北海道倶知安農業高等学校 (日本酒プロジェクト)	倶知安町
北海道倶知安農業高等学校 (ようてい和牛プロジェクト)	倶知安町
ベジタブルワークス株式会社	真狩村
黒松内フットパスクラブ	黒松内町

函館ブロック	
参加団体名	応募者所在地
やくも元気村	八雲町
北海道八雲高等学校	八雲町
七飯の食を考える会	七飯町
福島町干鮮地域活性化実行委員会	福島町
やまの会	せたな町
奥民高等学校オクシレイノベーション事業部×奥民ワイナリー	奥尻町
えさし水土里の会	江差町

室蘭ブロック	
参加団体名	応募者所在地
北のなのほな会	安平町
ニサナイ大地の会	むかわ町
合同会社自然農業社	壮瞥町
沙流太ほおずき絆の会	日高町
北海道壮瞥高等学校	壮瞥町

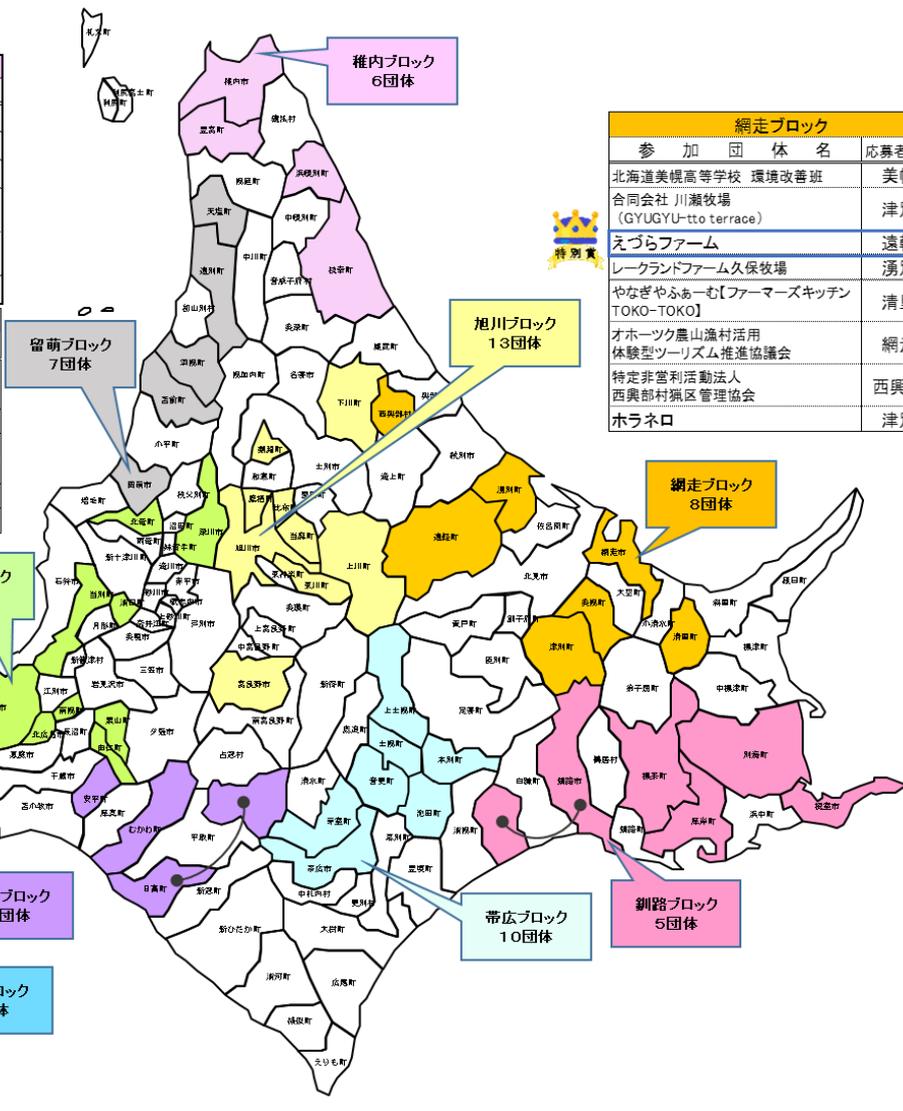
稚内ブロック	
参加団体名	応募者所在地
就労継続支援B型事業所稚内市北光園	稚内市
株式会社 hokubu 北のWaiWai農園	浜頓別町
豊富猿払森林林業活性化協議会	豊富町
うたのぼり・癒しの森「音夢路」利用促進研究会	枝幸町
認定NPO法人 サロベツ・エコ・ネットワーク	豊富町
稚内農業協同組合 稚内牛乳	稚内市

留萌ブロック	
参加団体名	応募者所在地
民安ダム「サクラの森づくり」の会	天塩町
フレッシュ市場「花菜夢」	遠別町
朝日地区資源保全隊	羽幌町
べこちちFACTORY	天塩町
北海道遠別農業高等学校	遠別町
上田ファーム株式会社	苫前町
「うまいよ！るもい市」実行委員会	留萌市

札幌ブロック	
参加団体名	応募者所在地
札幌市立南高等学校	札幌市
札幌市立東高等学校	札幌市
札幌市立北高等学校	札幌市
札幌市立南高等学校	札幌市
札幌市立東高等学校	札幌市
札幌市立北高等学校	札幌市
札幌市立南高等学校	札幌市
札幌市立東高等学校	札幌市
札幌市立北高等学校	札幌市

室蘭ブロック	
参加団体名	応募者所在地
室蘭市立南高等学校	室蘭市
室蘭市立東高等学校	室蘭市
室蘭市立北高等学校	室蘭市
室蘭市立南高等学校	室蘭市
室蘭市立東高等学校	室蘭市
室蘭市立北高等学校	室蘭市

函館ブロック	
参加団体名	応募者所在地
函館市立南高等学校	函館市
函館市立東高等学校	函館市
函館市立北高等学校	函館市
函館市立南高等学校	函館市
函館市立東高等学校	函館市
函館市立北高等学校	函館市



網走ブロック	
参加団体名	応募者所在地
北海道美幌高等学校 環境改善班	美幌町
合同会社 川瀬牧場 (GYUGYU-to terrace)	津別町
えづらファーム	遠軽町
レークランドファーム久保牧場	湧別町
やなぎやふあーむ【ファーマーズキッチン TOKO-TOKO】	清里町
オホーツク農山漁村活用体験ツアーズ推進協議会	網走市
特定非営利活動法人 西興部村学区管理協会	西興部村
ホラネロ	津別町

旭川ブロック	
参加団体名	応募者所在地
上川町地域おこし協力隊	上川町
富良野市立樹海学校	富良野市
あさひかわ農業体験塾 (JAあさひかわ&北海道教育大学旭川校)	旭川市
北海道旭川農業高等学校食品科学科 あつたか旭川まん研究グループ	旭川市
特定非営利活動法人 もりねと北海道 けんぶちキヌア生産普及組合	旭川市
(株)鷹栖町農業振興公社	鷹栖町
ピリカ株式会社	比布町
JAたいせつ田んぼアート実行委員会	旭川市
北海道下川町ローカルフード協議会	下川町
旭川市民農業大学運営委員会 子ども農業体験塾運営委員会	旭川市
当麻土地改良区	当麻町
東川町農業協同組合	東川町

釧路ブロック	
参加団体名	応募者所在地
有限会社 仁成ファーム	釧路市
根室・室根交流の会	根室市
別海町女性農業士会	別海町
北海道標茶高等学校 牛乳班	標茶町
北海道厚岸翔洋高等学校 海洋資源科 アナジャコチーム	厚岸町

帯広ブロック	
参加団体名	応募者所在地
北海道帯広農業高等学校 食品科学科 地域資源活用分會	帯広市
音更町ら〜麺組合	音更町
北海道士幌高等学校 乳加工専攻班	士幌町
北海道士幌高等学校 地域資源専攻班	士幌町
北海道士幌高等学校 環境専攻班	士幌町
北海道上士幌高等学校	上士幌町
MEMロビーナッツ	芽室町
株式会社 十勝いけだ屋	池田町
ほんべつ豆まかナイト実行委員会	本別町
前田農産食品株式会社	本別町

